

後悔しないように行動できたことが一生の思い出に

「新人になり、何でも知りたい」「人貧乏をしない」をモットーに入会しました。シルバーで多くの事を体験し、仕事以外に理事や地区長にも従事し、有意義でした。軟式野球を79歳まで楽しみ、多くの友人に恵まれました。最大の想い出は、東北大地震災が起きた時に妻とマイカーで宮城県にボランティアに行つたことに尽きます。これからは、私の人生の生きざま、私の子供たちに伝える事を抱負とした。



佃 実さん

健康が取り柄です

現役の時は、大工をしていました。入会後に仕事を紹介してもらいましたが、大工の仕事と重なったりして、タイミングがあわない事もありました。今は、除草の仕事を頼まれて従事しています。健康が取り柄ですが、仕事に行くことを妻に反対されることもあります。ほんばち就業していきます。



国保 義次さん

シルバーとは老後の空白を埋める場所

現役の時から自己流で使い方をマスターするほどパソコンが好きでした。シルバーがパソコン講座を始めたことを聞き入会が好し、講師として就業することが決まりました。講師生活も20年会場が過ぎました。私にとってシルバーとは、老後の空白を埋める年場所であり、新しい人脈を見つける場所。少しの時間でも「これがわたしの生きがい」と思えるように時間を使うことが出来て、日々の充実度が上がりました。今一番思い出すのは、現役時代に海外派遣された時の苦労した経験です。



伊藤 直紀さん

感謝の気持ちを少しでも伝えたい

入会後、南部丘陵公園でお世話になりました。今は、たまに除草作業をしています。今まで83年間沢山の人に支えられ、守られて「無形の財産」を多くいただきました。恩返しのつもりで、「ありがとうございます」と、忍耐強く物事に取り組むことを目標にこれからも健康第一で喜びを感じながら、楽しく日々を過ごしていきたい。



坂下 繁さん

畑仕事は、初心者でした

シルバーに入会したのは、市民の方に少しでも役に立ちたいから。今まで13年間数多くの仕事をさせていただきました。いきがいい農園（同好会）があると知り、すぐ畑仕事に取り組みました。初心者だったので、同好会の先輩に教わったり、図書館で勉強したり、失敗と成功を繰り返し、家族や友人から新鮮でおいしいと褒められるような野菜を作れるようになりました。これからも健康に気を付けて、農業の開拓者としていきたいです。



二之宮 孝さん

同好会を立ち上げて、啓発活動に生かして

着付けの資格を活かして、着付け同好会を結成。出張して着付けをする業務も立ち上げました。今は、後輩に仕事も同好会も任せました。更に、平成23年には、友達を講師に迎えフラダンス同好会を立ち上げました。介護施設や公民館でフラダンスを披露すると涙を流してくれる利用者の方もおられます。二つの同好会を立ち上げることが出来て本当に良かったと思います。



織田 啓子さん

定年後、当センターの嘱託職員として就業

定年後、ボリテクセンターに通っていた時、当センターの求人広告を見て、嘱託職員に応募し、お世話になりました。その後70歳で職員を卒業。会員として13年間様々な仕事を経験させていただきました。併せて22年間、たくさんの人々との出会いがあり、思い出もいっぱいできました。夢は次の「干支座談会」に出席することです。（笑）



中西 清治郎さん

遺跡発掘作業は、予想外の力仕事でしたが…

63歳の時、入会しました。じばさん三重で受付業務を13年間続けました。遺跡の発掘業務では、上野遺跡（西阿倉川）から7世紀中期の石室と祭祀用の白磁の高杯が出土し、感動しました。歴史への夢とロマンを感じた貴重な体験でした。会員になつて21年目、就業や互助会など様々な経験や出会いがあり、たくさんのご縁が生まれました。最近は、会員の年齢構成も高くなっていると広報誌で知り、シルバーの役割も転換期にあるのかなあと感じます。



杉浦 莊治さん